

第2回 吹田市胃がん検診(胃内視鏡検査)精度管理委員会議事録要約

開催日時	令和元年11月13日(水) 午後8時30分から10時まで
開催場所	吹田市立保健センター4階 集検室
出席者	<p>天野 委員 網岡 委員 井上 委員 伊澤 委員 石川 委員 上山 委員 金田 委員 大庭 委員 水野 委員 古賀 委員 神下 委員 杉本 委員 塚原 委員(長) 長生 委員 中川 委員 布出 委員 野中 委員 林 委員 松村 委員 吉井 委員 川西 委員 相馬 委員 辻井 委員 オブザーバー：健都健康管理センター 水野 医師</p> <p style="text-align: right;">(以上 24名)</p>
欠席者	石田 委員 柴田 委員
議題	<p>(1) 検診除外者の条件について (2) 使用帳票について (3) 検診の流れについて (4) 精度管理と画像評価について</p>
資料	<p>資料1 吹田市胃がん検診(胃内視鏡検査)受診票 資料2 吹田市胃がん検診(胃内視鏡検査)同意書 資料3 吹田市胃がん検診(胃内視鏡検査)偶発症報告様式 資料4 吹田市胃がん検診(胃内視鏡検査)精密検査依頼書兼実施報告書 資料5 吹田市胃がん検診(胃内視鏡検査)流れ 資料6 精度管理について 資料7 吹田市胃がん検診(胃内視鏡検査)画像評価票 資料8 吹田市胃がん検診(胃内視鏡検査)画像評価について</p>

議 事 概 要

1 検診除外者の条件について（資料 1）

【事務局説明】

- ・抗血栓薬を服用している人は検診の対象外であるが、検診除外とする薬剤について意見を聞きたい。
- ・その他の検診除外については、胃疾患で治療中や自覚症状のある人など。

【意 見】

- ・「現在、胃の病気で治療していますか」の問診で「はい」を選択すると「受診できません」というように記載したほうがいい。
- ・「明らかな出血傾向またはその疑いの方」は肝硬変など病名を入れてほしい。
- ・収縮期血圧が、きわめて高い方という書き方が曖昧。

【決定事項】

- ・抗血栓薬の中で最低限の薬剤のみ除く。薬剤については委員長に一任する。
- ・胃疾患で治療中の場合は、検診は受けられません、という文言を受診票に入れる。
- ・血圧等検査が可能かどうかの判断は最終的に検査医が判断する。受診票には「具体的なことは検診医に御相談ください」と記す。

2 使用帳票について（資料 1～4）

【意 見】

- ・受診票で、緑内障、前立腺肥大の有無を聞いているが鎮痙剤を使わないのに聞く必要があるのか。
- ・「ピロリ菌の除菌を受けたことがありますか」の結果について「不明」の項目をいれておいたほうがよい。
- ・所見のところに胃炎だけが選択肢にあるが、鳥肌胃炎等はどうするのか？

【決定事項】

- ・鎮痙剤は使わないのでこれに付随する問診項目は削除。
- ・出血傾向の質問に病名（出血傾向を伴う血液疾患等）を書けるようにする。
- ・受診票に詳細に書きすぎるのもよくない。
- ・受診票に記載されているもの以外、診断名等は所見欄の中に書く。
- ・生検については検査医が必要と認めた場合のみ実施する。

3 胃検診の流れについて（資料 5）

【事務局説明】

- ・要精密検査者に該当するのは、総合判定 3 の胃がんまたは胃がん

	<p>疑い、または生検を実施した場合のみ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精密検査不要の場合は、今後気になる症状があれば受診勧奨し、受診時期の目安を伝える。 ・翌年はエックス線検査も含めて吹田市胃がん検診を受けられない。 <p>4 精度管理と画像評価について（資料6）</p> <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検診の評価指標として、国が定める「精度管理指標」がある。資料6に5項目にわたって書かれているので参照しておいてほしい。 ・今後、定期的に参加医療機関の画像評価が必要と考えている。大阪府は画像評価委員会を立ち上げており、吹田市でも今後導入を検討していきたい。
	<p>（閉会）</p>